



通常総会の様子

第38回通常総会開催

一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)は5月20日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で第38回通常総会を開催しました。

# 「安心・安全・社会貢献」の目標 仕上げるの年度に

総会は正会員43名に対して41名(代理出席、委任状出席含む)の出席があり、全改協定款第19条および運営規程第7条の規定により成立いたしました。北川副会長の開会の辞の後、橋本正敏会長がまず来賓のご出席への御礼を述べ、次いで、本年度の全改協事業の実施についての決意を時代背景とともに発言し、次のような内容で挨拶をしました。

「昨年度は「安心・安全・社会貢献」を年間の目標とし、地域に喜ばれる宅配業・サービス業を目指し、一定の成果が得られた。皆さまのご協力に感謝申しあげる。26年度は新規事業の準備を行い、27年度からの本格的スタートに結びつけた。

昭和40年代末は「牛乳は牛乳屋から」が当たり前だったが、50年代前半ごろから、スーパーの出現、その後の後継者不足による販売店の減少、09年の乳価改定などで牛乳販売店の市場シェアは数%となっていました。しかし近年は宅配事業そのものが見直され、2017年には2兆円市場になるという見方もある。宅配店も進化が必要だ。

27年度は、「安心・安全・社会貢献」の仕上げをする年度としたい。課題は山積しているが、今こそ力を合わせて課題を解決していくことが肝要であり、宅配事業に対する牛乳販売店の存在感を大きく示すことにつながる。

本日お集まりの関係各位には、地域の加盟店のために、私たちが組織として何をすべきかをぜひとも共に協力いただき追求していただきたい。」

会長挨拶に次いで、農林水産省、関係諸団体、賛助会員、乳業メーカーからお招きした来賓を紹介し、祝辞として榎田浅亨 農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 課長補佐、木村敬 Jミルク マーケティンググループ部長、松永英樹 森永乳業株式会社 市乳事業部市乳マーケティンググループ長のお三方からご祝辞をいただきました。詳しい内容は2面に掲載いたしました。がいずれも、牛乳販売店がお客様に対して身近な存在で地域に密着している点、地域安全、パトロールなどで地域貢献をしている点を挙げ、評価をされています。

祝電の披露の後、議長に田村 福岡県流改協会長、議事録署名人に平石 栃木県流改協会長、伊川 石川県流改協会長を選任し、議事



〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエンビル6階  
発行所 一般社団法人全国牛乳流通改善協会  
TEL.03-6380-8021  
FAX.03-6380-8435  
e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp  
U R L : www.zenkaikyou.or.jp  
twitter : @zenkaikyou  
facebook : 全国牛乳流通改善協会



## 紙面から

- 第38回通常総会 (1~3面)
- 事業計画の概要 (3面)
- 「地域安全パトロール」について (4面)
- 「牛乳の日・牛乳月間」について (4面)
- 本年度の事業にご参加ください(中刷り)

い申しあげます。

今はいわゆる販売店にとっては非常に厳しい環境ではありますが、メーカー、マークを超えて皆さまのご協力をいただきながら、この全改協を、一歩でも二歩でも前に進めていただきたいと思っております。それでは全改協の第38回通常総会をただ今から開催いたします。よろしくご審議のほどお願いいたします。



開会の辞  
一般社団法人全国牛乳流通改善協会 副会長 北川 忠男氏

本日はご多忙中のごところ、全国からご出席を賜りまして厚く御礼を申しあげます。ご来賓の皆さまもありがとうございます。

**ガセリ菌のチカラで、一歩進んだ健康習慣。**

カラダをケアする **2つの機能素材**

ガセリ菌 + グルタミン

ガセリ菌+グルタミン ヨーグルト

低脂肪 カロリー(1個当たり) 59kcal

雪印メグミルク

写真イメージです。 宅配専用

挨拶  
一般社団法人全国牛乳流通改善協会  
会長  
橋本 正敏氏



本日は第38回通常総会開催にあたりまして、ご多忙中にもかかわらず、農林水産省牛乳乳製品課 榎田課長補佐をはじめ、日頃より大変お世話になっている各メーカーの代表の方々、何かと指導をいただいております。また、会員の皆さまには、日頃の当会の運営に対してご理解、ご支援ご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申しあげたいと思います。

平成26年度は、「安心・安全・社会貢献」の旗印のもとに、地域に喜ばれる、また地域に選ばれる宅配業・サービス業を目指そうということ年間目標にして活動してきました。この活動を通じて、地域における牛乳販売店の社会的地位の向上、存在感の向上に努めました。皆さまのご協力があり、また、昨年度より開始した地区別代表者会議を実施したことにより、一定の成果が得られました。改めて感謝申し上げたいと思います。26年度は「地域安全パトロール」などの地域貢献型事業と、加盟店のメリットを追求する「食品流通構造改善緊急対策事業」を新たに準備を進め、いよいよ27年度から本格的にスタートをする所存です。これら事業につきましては、総会後に全国

5地区(仙台、東京、大阪、名古屋、福岡)で各地区の流改協の会長さん、事務局の担当者さんにお集まりいただいて開催する「地区別代表者会議」でくわしく説明し、ご相談しながら実行に移していく所存でございますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昭和40年代末は「牛乳は牛乳屋から買う」というのが当たり前の時代だったと記憶しています。それが、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる、ちょうど私

たちの世代ですが、それが成長期を迎えた昭和50年代前半ごろから、牛乳販売店の売り上げは下降線をたどり始めました。大型流通店の参入や相次ぐ異業種の参入、少子高齢化にもなう後継者不足による販売店の減少などの要因により、今や牛乳販売店の市場シェアは数%に留まるという状況となっております。さらに、09年の2度にわたる乳価改定の際には、スーパー、大手量販店はこぞ利益の大きな成分調整乳や乳飲料などの売り場シェアを拡大したために、私たち宅配牛乳店が扱う牛乳との価格差がますます広がりました。これも宅配牛乳のシェアが落ちた要因かと思えます。

る、と予測しており、それに向けて今後は私たち宅配店もさらなる進化が求められます。

27年度は、昨年度に掲げた目標を踏襲し、仕上げをして参りたいと考えています。「低温物流」、「少量多頻度配達」を得意とする牛乳販売店の社会的な役割のさらなる向上を目指して行くことが肝要だと考えています。その実現のためには、いま活躍なさっている全国の牛乳販売店が手を結び、活動をもにすることが、より大きな力になると考えます。残念ながら一部のメーカーさんとはその思いが共有されていませんが、「牛乳販売店としての誇り」、「牛乳乳製品の消費拡大に対する思い」は同じはずだと思っております。「小異を置いて大同に就く」とことわざにも言いますが、大きな気持ちを持って、あきらめずに全国の牛乳販売店を一枚岩にする、これも近々の課題と思っております。

現在、特定商取引法の改正論議、人口減少、労働力不足等、課題は山積していますが、今こそ私たちが力を合わせて、「全改協の使命」を果たし、これらの課題を解決していくことが肝要であり、宅配事業に対する牛乳販売店の存在感を大きく示すことにつながると考えます。

本日お集まりの関係各位には、これからも変わらぬご支援をいただきますとともに、全国各地でリーダーシップをとっていただいている流改協会長の皆さまには、地域の加盟店のために、私たちが組織として何をやってい

祝辞  
農林水産省生産局畜産部  
牛乳乳製品課 課長補佐  
榎田 浅亨氏



第38回通常総会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

皆さま方におかれましては、日頃より農林水産行政へのご理解を賜り、改めて感謝申し上げます。

ご承知の通り、日本は人口減少、少子高齢化が進んでおり、これを受けて飲用牛乳の消費はこの10年、減少傾向で推移しています。

酪農乳業の安定的発展を図るためには、国産牛乳乳製品の底堅い需要の確保が重要であり、喫緊の課題です。このため、皆さま方におかれましては、日頃から消費者と身近なつながりを持つという強みを活かしつつ、今後とも、地域における消費者の信頼確保、牛乳乳製品の消費拡大、また、地域における活動などで引き続きご尽力を賜れば幸いです。

農林水産省といたしましても、学校給食用牛乳の安定供給を図るための支援措置を行っておりますが、平成26年に国産畜産物の新たな需要獲得のための技術開発を予算措置しております。こういった事業を活用しながら牛乳乳製品の消費拡大を推進していきたいと思っております。

また最近の需給状況を踏まえ、牛乳乳製品の安定供給を図るため、酪

農生産基盤の強化に向けた支援、適宜適切な乳製品の輸入を実施して参りたいと思っております。

さらに、本年4月より、飲用牛乳、乳製品の販売価格の値上げを各メーカーが実施されましたが、小売価格の引き上げ、これによる需要への影響については、引き続き農林水産省として注視して参ります。

最後に、本日ご列席の皆さまにおかれましては、ますますのご発展、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

とを拜見しました。とても頼もしく思った次第です。

さて、牛乳乳製品、酪農乳業をめぐる情勢につきましては、すでにお話がありましたとおり楽観を許されない状況です。加えて、牛乳を否定的に捉える「アンチミルク」という考え方が次々と出て、お客様の不安を招くことが懸念されております。Jミルクではこれらに対して、科学的な根拠に基づく適切な反論をウェブサイトに掲載しておりますので、お客様からの質問等ございました場合には、ご参考になさってください。

6月は牛乳月間、6月1日は牛乳の日です。業界が「生・処・販」で連携して「牛乳の日」の認知を高める取り組みが必要です。作成しました共通のポスターをご活用いただき、お客様へのPRをお願いいたします。また、5月30日には、東京・有楽町の国際フォーラムにて、「日本人とミルクの関係を考える」というテーマで「牛乳の日記念学術フォーラム」を開催します。

全改協とJミルクが毎年制作に係わる「ミルクカレンダー」は、2016年版は「乳和食」の自家である料理研究家の小山浩子先生監修の乳和食レシピを掲載します。どうぞご期待ください。

牛乳販売店のお仕事というのは、酪農乳業界でお客様と直接向き合っている唯一無二のチャネルであるということに申しあげてもいいかもしれません。どうぞ今後もこの特性を活かして、皆さまの事業、また、全改協がますます発展されますよう祈念しましてお祝いの言葉といたします。

祝辞  
森永乳業株式会社 市乳事業部  
市乳マーケティンググループ長  
松永 英樹氏



賛助会員メーカーを代表してご挨拶させていただきます。

本日は、第38回通常総会の開催、心よりお慶び申し上げます。日頃は、全改協の基幹事業である、牛乳流通の改善、牛乳の消費拡大、加盟店の経営の安定に向けて、熱心な取り組みをなされていることを改めてこの場をお借りして御礼申し上げます。

景気の復調の兆しは一部では見られていますものの、一方、内閣府が実施した消費者アンケートで、2015年は生活が良くなると回答した人は約5%、収入が増えると回答した人は約6%に過ぎず、消費者の景気回復の体感はまだまだといえます。私どもを取り巻く環境もまた厳しく、乳価改定円安による輸入原材料の高騰などにより、コストの一部をお客様にご負担いた



通常総会の様子





# 各流改協の「地域安全パトロール」の活動について

本年度から本格実施となった「地域安全パトロール」。全改協の地域貢献活動として、マークの枠を超えてずっと続けていく活動です。

これまでにご報告のあった、各流改協の活動内容についてご紹介します。警察との協力宣言の伝達式、出発式、また実際のパトロールで加盟店さんが挙げられた成果などがありましたら、全改協までご一報ください。ご紹介させていただきます。



(一社)全国牛乳流通改善協会  
都道府県警察  
(公財)全国防犯協会連合会

徳島県… 4月10日「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」の県警との締結式を実施。  
4月11日(土)付けの「徳島新聞」で報道されました。

秋田県… 5月14日開催の秋田県流改協役員会の場に、県警 生活安全係の担当警部補が同席、事業実施についての留意点等について指導を受けました。

長野県… 6月13日に出発式を執り行いました。

北海道… 6月21日に、道警、道防犯協会連合会との協力宣言を締結し、パトロール発足式を実施しました。札幌市「乳と酪農の資料館」から、安全パトロールのステッカーを貼った配達車両20台が一斉にパトロールに出発し、地元メディアで報道されました。

神奈川… 7月1日に、第20回優良事例の農林水産大臣賞受賞店であるエムズ株式会社で神奈川県警と協力宣言を締結し、出発式を行いました。地元メディアで報道されました。

北海道新聞6月25日(木)夕刊記事より  
(この記事の著作権は北海道新聞にあります)

**牛乳宅配で防犯貢献**  
流通改善協会が出動式

札幌

防犯ステッカーを張りパトロールに出発する牛乳配達車

夜の牛乳宅配は地域の見守り活動に貢献でき、犯罪の抑止につながる」とあいさつ。防犯ステッカーを車体の高側に張った13台の牛乳配達車などがさっそくパトロールに出発した。(山村麻衣子)



6月1日は  
**牛乳の日**  
WORLD MILK DAY  
6月は牛乳月間

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。これは、FAO(国際連合食糧農業機関)が2001年に、6月1日をWorld Milk Day(世界牛乳の日)とすることを提唱したことによります。日本の酪農乳業界挙げて、6月にはさまざまな催し、イベントが行われました。全改協が関係した活動をご報告します。

## 加盟店店頭用ポスターの配布

▶酪農乳業界・生処販統一の牛乳月間訴求のポスターを各流改協にお届けしました。各加盟店さんにも届き、店頭に掲示していただいたことと思います。



## NHK『きょうの料理』でミルク料理の紹介

▶ミルクカレンダーで、ミルクを使った減塩料理をご紹介しますが、日本の料理番組の代表格・NHK『きょうの料理』でミルクを使った減塩料理レシピが紹介されました。

今年の全改協のミルクカレンダー「2015 Milk Calendar みんなの健康ごはん ミルクを使っておいしく減塩」の料理監修をしていただいた小田真規子先生が、「やわらか豚カツのヨーグルトタルタル」「手づくりチーズの和風パエリア」「まぐろのミルクごまだれマリネ」の作り方を紹介されました。短時間で手際よく3品を作られた様子は、6月23日(再放送は翌日24日)に放映されました。



小田真規子先生



ミルクカレンダー

## 「牛乳の日」記念学術フォーラム「日本人とミルクの関係を考える!!」

▶去る5月30日(土)、東京で「牛乳の日」記念学術フォーラムが、乳の学術連合と(一社)Jミルクの主催で開催されました。本年は、6月1日を「World Milk Day(世界牛乳デー)」と定めたFAO駐日連絡事務所が協力団体となりました。チャールズ・ボリコFAO駐日連絡事務所長のビデオメッセージが流されるなど、「牛乳の日・牛乳月間」を一層意識した取り組みになっていました。

人類史でのミルク利用の起源の考察、これからの日本食と牛乳との融合の可能性を述べた講演、乳成分の側面から「乳糖不耐症」について述べた講演、いわゆる「アンチミルク」のような牛乳有害論や牛乳不要論が根拠としている論文がいかにか科学的根拠が薄いものかを示唆した講演があり、牛乳についてはまだまだ様々なアプローチができることを広く示したフォーラムでした。



# あなたの骨と腸をサポート!

## 森永カルダス

生きたまま腸まで届くビフィズス菌でお腹の調子を整えます!

消費者庁許可 保健機能食品(特定保健用食品)※乳製品乳酸菌飲料 (宅配専用1本 180ml)

- ミルクカルシウムが2倍(当社普通牛乳比)
- 鉄分1mg
- 森永独自のビフィズス菌(BB536)
- カルシウムの吸収を助けるビタミンD



森永乳業

商品に関するお問い合わせ

0120-369-465

(受付時間: 土日祝日、年末年始を除く9:00~17:30)



### ③ 牛乳販売店優良事例発表会



## めざせ農林水産大臣賞!

日頃の販売活動をお知らせください。中央発表会に進まれた加盟店を審査し、農林水産大臣賞を授与いたします。

発表会では、名誉ある「農林水産大臣賞」を頂点に、各優秀賞を決定。受賞店は、高い信用度という営業活動のメリットが得られます。ぜひ皆様もご参加ください。



昨年度、農林水産大臣賞を受賞したのは鹿児島県の株式会社しのはら。「目指すのは顧客満足度世界一」とのコメントが印象的です。



過去の優良事例発表会の様子。それぞれの加盟店が工夫を凝らして発表しています。

### ④ 食品流通構造改善緊急対策事業(リース事業)



## 設備導入時のリースの利息 2/3相当額を免除!

皆様が設備・機器を新たに導入する際のリース利息の一部を「(公財)食品流通構造改善機構」が負担する事業です。全改協加盟店であれば、必要書類を流改協を通じて提出するだけです。

●提出期限:  
2015年8月末日まで

本事業の詳しい説明パンフレットは、すでに都道府県流改協にお配りしています。8月末日が締切となりますので、機器の導入を検討中の方はぜひお問い合わせください。

**支援**

- リース会社(リース会社)に提出
- 設備・機器のリース料

**導入者のメリット**  
(通常のリース)より

- 冷蔵車 価格 A円
- 冷蔵車 価格 B円
- リース料 C円
- 利息 D円

**対談談話**

こんな欲し

**設備・機器のリース料**

基本要件=5つのキーワード

- 新し(最新) → 3年以内に更新された
- 品質保証の向上 → 保証の範囲や安全安心
- 安かた → 人手不足の解消、労働
- 省エネ省スペース → 経路の削減が可能な設備
- 機能(欲しい) → フロントガラスの増設

**5つの分野**

- 情報 → コンピュータ、情報ネットワーク
- 物流 → 冷蔵車、冷凍車、冷蔵トラック
- 食品衛生 → 冷蔵車、冷凍車、冷蔵トラック
- 省エネ → 省エネ型冷蔵庫の導入
- 廃棄物 → 廃棄物回収、廃棄、運搬設備、

**対象となる設備・機器**

- × 建物、器具、工業用、内装等
- × 店舗の修繕、空調設備
- × 農機(トラクター、コンバイン等)
- × 自動車(トラック、バス、トラック等)
- × 冷凍トラック(冷蔵車、冷凍車)

- × テーブル(作業台等)
- × その他の機器的なもの
- × 消費財(冷蔵庫、洗濯機、掃除機、保管庫)
- × 肥料、飼料等

**返済方法**

リース会社に対して、リース料を支払う。(食流機構への返済はリース料に含まれています)

### ⑤ 地域安全パトロール



## 加盟店による地域貢献活動!

配達時などにできる地域貢献活動として、統一ステッカーを貼った車両による地域安全パトロールを!

これは、「地域を巡回する」「早朝の時間帯に活動する」「お客様と顔の見えるお付き合いをする」という、牛乳販売店ならではの活動といえます。地域社会における地位向上のためにも、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。



北海道で行われた出発式の様子。ステッカーを貼った配達車両が一斉に走り始め、地域に大きくアピールしました。

**地域安全パトロール中**

みんなで  
つくろう  
安心の街。

(一社)全国牛乳流通改善協会  
都道府県警察  
(公財)全国防犯協会連合会

全国規模で展開するため、シンボルとして統一デザインのステッカーを作成。